

千葉工業同窓会報

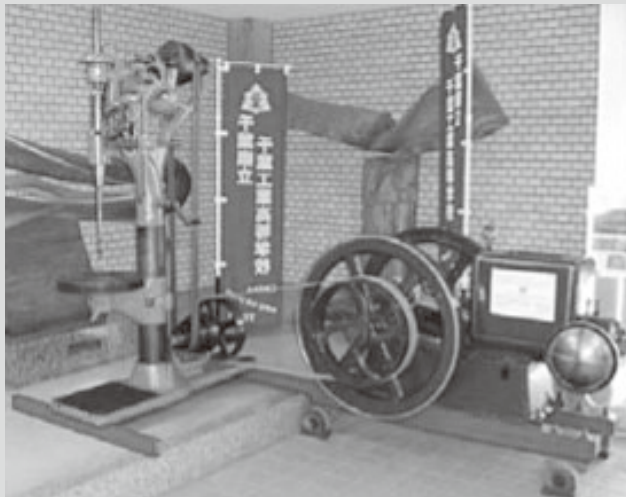
平成31年3月1日

第30号

発行 千葉工業同窓会

平成20年度「近代化産業遺産群 続33」経済産業省

日本の経済産業省が認定している文化遺産の分類である。2007年(平成19年)11月30日に33件の「近代化産業遺産群」と575件の個々の認定遺産が公表された。さらに2009年(平成21年)2月6日に「近代化産業遺産群 続33」として、新たに33件の「近代化産業遺産群」と540件の個々の認定遺産が公表された。(Wikipedia)



認定された直立ボール盤
(左側 母校玄関右側に保存されている)
右側はベルト駆動用原動機(通産省HPより)

近代化産業遺産
平成20年度 経済産業省



近代化産業遺産群 認定証
経済産業省
平成21年2月23日



伝えたい千葉の産業技術
100選 登録証
千葉県立現代産業科学館
平成30年3月1日

目次

就任挨拶	布施敏雄……2	創立記念講演 松崎謙二氏(40M)	
Society 5.0の時代における工業教育	西澤康男……2	「パイプオルガンに魅せられて」を聞いて	白井正男…15
レクリエーション委員会の活動報告	藤井 孝……3	『会報で知る同窓会・母校の動向』	
ゴルフ、ハイキング、囲碁同好会		一北九州の地から同窓会への想いを馳せて—	宮崎司朗…16
総務委員会の活動報告	金子 衛……3	津田沼は千工生の聖域だった	植草光春…17
同窓祭実行委員会のこの一年	宮崎一雄……4	『くれない会OB会』開催の記	田子昌人…18
広報編集委員会の活動報告	若月忠良……4	編集後記	……18
平成30年度～31年度本部役員	……4	生徒会役員との懇談会	金子 衛…19
会員の状況	……4	生徒会部活動 助成金	……19
第66回 母校文化祭 千工祭への参加	藤井 孝……5	段木正視同窓会顧問 絵画紹介!	
同窓会 ふれあい交流広場	……5	元公立高校長会が作品86点を展示	……19
千葉工業同窓会 事務局報告	長嶋孝雄……6	導電性プラスチック 白川さんが実験教室 千葉工業高で	…19
寄付金のお礼とお願い 布施敏雄、本部役員一同	……6	千葉工業高校この一年	……20
「南総支部長」就任にあたって	白井正男……7	入学式・対面式、部活動壮行会、創立記念講演会	
支部紹介と定期総会予定	……7	球技大会、タマン・シー校来校、体育祭	
南総支部、外房支部とびっくす	……8	中学生体験入学、修学旅行、文化祭(千工祭)	
千葉市支部、市原市支部とびっくす	……9	総合技術コンクール、姉妹校交流(台湾)	
千葉支部、北総支部とびっくす	……10	課題研究発表会	
東葛支部とびっくす、女子会「レディス・ビオラ」	……11	平成30年度 進路概況(全日制の課程)	……22
千葉工業と私 古川千枝子…12		平成30年寄付金のお礼とご芳名	……23
恐るべし津田沼校歌「千葉工業の歴史を語る」の反響	金子 衛…13	「同窓会寄付金」のお願い	……24
ビフォー・アフター 長谷川敏一…13		「第34回 千葉工業同窓祭」にご参加ください	……24
定年後はキャンピングカーで世界一周と		第33回 千葉工業同窓祭・同窓会創立65周年記念	……24
現実には百姓にはまって身動き出来ず	石川尋志…14	千葉工業同窓会 幹事会のお知らせ	……24

就 任 挨 拶

同窓会長 布施 敏雄 (41E)



昨年の同窓会本部総会に於いて、同窓会第7代会長に選任されました昭和41年電気科卒業の布施敏雄です。もとより非才の身ではございますが、全力を尽くす所存であります。

同窓会は昨年創立65周年を迎えました。更なる70周年そして80周年に向けて邁進して頑張ります。

今年は5年毎の同窓生の会員名簿を発行いたします。会員名簿はクラス会ならびに会員相互の親睦に大いに役立つものと確信しておりますのでご活用ください。

毎年6月に同窓祭を実施しています。奮って参加

をして同窓生同志の新たな出会いや旧友との懇親の場としてご活用ください。

その他にも、千工祭、ハイキングやゴルフ等、色々な行事を行っておりますので、ぜひ参加をお願いします。

同窓会運営においては、諸般の事情により(一財)千工会からの助成金は減額となり、厳しい財政であります。本部の経費節約を徹底して行いますが、同窓生のご協力もお願いいたします。

是非、同窓会活動にご理解を頂き、末永いご指導、ご鞭撻、ご支援をお願い申し上げ、就任の挨拶いたします。

平成31年3月吉日

Society 5.0の時代における工業教育

校長 西澤 康男



同窓会員の皆様におかれましては、日頃より本校の発展のため御支援、御協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、約10年ぶりに改定された高等学校の学習指導要領の解説の中で、現代の目覚ましい科学技術の進展に言及し、これからの社会は、進化した人工知能(AI)が様々な判断を行ったり、IoT(Internet of Things)が広がるなど、Society 5.0と呼ばれる新たな時代の到来が、社会や生活を大きく変えていくとの予測を紹介しています。

Society 5.0は、狩猟社会(Society 1.0)、農耕社会(Society 2.0)、工業社会(Society 3.0)、情報社会(Society 4.0)に続く、新たな社会で、第5期科学技術基本計画において我が国が目指すべき未来社会の姿として初めて提唱されました。

これまでの情報社会(Society 4.0)では、人間が情報を解析することで価値が生まれてきましたが、Society 5.0では、膨大なビッグデータを人間の能力を超えたAIが解析し、その結果がロボットなどを

通して人間にフィードバックされることで、これまでは出来なかった新たな価値が産業や社会にもたらされることとなります。

一方、学校現場ではSociety 5.0への対応が求められています。本校では平成28年に挙行された創立80周年記念事業の一環として、各教室に電子黒板を設置していただいたほか、Wi-Fiの環境が整備され、公立高校では他に類を見ない最先端の学習環境が整っています。全日制・定時制ともに、電子黒板等を用いた授業が行われていますが、更なる有効活用を目指し、総合教育センターの指導主事を招き、校内研修を実施しています。今後とも、本校の良き伝統や校風を受け継ぎつつ、高度の専門的知識と技能を有するスペシャリストを育成すべく、地域や保護者、産業界から信頼される学校づくりに取り組む所存です。

ICT教育については、公立高校と私立高校の格差が広がっているとの指摘もありますが、この恵まれた環境を最大限に活用し、教育活動を展開してまいります。同窓生の皆様には、この場を借りて改めて感謝申し上げます。

レクリエーション委員会の活動報告

レクリエーション委員長 藤井 孝 (42M)

平成30年度のレクリエーション活動は春のウォーキングに始まり、秋のハイキングで無事に幕を閉じました。各々の活動実施を記しましたので、ご一読ください。

なお千葉工業同窓会ホームページに同窓会関係の行事日程(予定・変更・中止)等を掲載しておりますので、ご覧ください。

○ゴルフ同好会 活動報告

ゴルフ同好会事務局 市川 新一(38M) 携帯 090-3108-7071

- 平成30年度同窓会本部春季(徳永記念)親睦ゴルフ大会
5月15日(火)晴天の中で房総カントリー・大上ゴルフ場にて会員25名で実施し、優勝は宍倉 力さん(京葉支部)。
1・プレーヤーコースにて会員30名で実施し、優勝は花島 洋史さん(市原支部)。
2019年の予定
・春季大会 2019年5月21日(火)
房総カントリー・大上ゴルフ場
・秋季大会 2019年10月15日(火)
真名カントリークラブゲリー・プレーヤーコース
- 平成30年度同窓会本部秋季ゴルフ大会
10月16日(火)晴天の中で真名カントリークラブゲリー

○ハイキング同好会 活動報告

ハイキング同好会事務局 腕木 武男(38E) 携帯 080-1327-5713

春の第33回ハイキングが4月7日(土)快晴の中、福生市玉川上水遊歩道と酒造所を訪ねるコースを26名にてウォーキングを実施しました。

秋の第34回ハイキングは12月1日(土)晴天のもと貸切観光バスを利用して、山梨県河口湖町の天上山を22名にてハ

イキングを実施しました。

2019年予定

- ・春 2019年4月6日(土)：江戸川区桜名所めぐり
- ・秋 2019年11月16日(土)：丹沢大山(阿夫利神社)・神奈川県伊勢崎市

○囲碁同好会 活動報告

囲碁同好会事務局 高橋 健一(29C) 電話 04-7159-9367

今年度も例年通り4回の大会を開催、平成31年1月22日(火)の大会で完了しました。

平成30年 4月24日(火) 7名で実施

平成30年 7月24日(火)

在校生交流会は校内理由で在校生は不参加

平成30年10月23日(火) 7名で実施。

平成31年1月22日(火)

2019年予定

- 2019年4月23日(火)・7月23日(火)・10月22日(火)・
- 2020年1月21日(火)

総務委員会の活動報告

総務委員長 金子 衛 (38M)

今年度は役員改選の年となっていましたが、5月26日に開催された総会にて、深山 傳会長が退任し、新たに第7代同窓会長に現副会長の布施 敏雄氏(41E 千葉市支部)が推挙され、満場一致で承認されました。布施新会長は「深山前会長の路線を踏襲し、会員増等同窓会の抱える課題の解決に邁進したい」との抱負を述べ、新体制がスタートしました。

因みに副会長以下の執行部は全員が留任し、更に新たに総務委員長補佐に橋本 勇氏(42E 北総支部)、ホームページ担当補佐に野村 隆男氏(35E 千葉市支部)が就任しました。

その後約1年が経過しましたが、計画した様々な行事は順調に実施されてきています。

さて前号でも若干触れましたが、同窓会活動資金の大きな比率を占めていました(一財)千工会からの助成金が、

今年度は今までの約60%に減額となってしまいました。この助成金は将来更に減額されることも想定されており、同窓会報発行の制約を始め、今後の同窓会活動の自由度が大きく阻害される事態も考えておかねばならない状態です。

同窓会本部では各支部、及び会員各位のご協力を得ながら、「出づるを制する」ための様々な施策を進めておりますが、一方で「入るをはかる」ことにも注力していかねばなりません。

従来も「同窓会報」発行の都度振込み用紙を同封し、ご寄付のお願いをして参りましたが、更に多くの同窓生の皆様から『熱き心』をお寄せいただきたく、衷心よりご寄付のお願いを申し上げる次第でございます。

無理なお願いで誠に申し訳ありませんが、窮状をご賢察頂き何卒宜しくお願い申し上げます。

同窓祭実行委員会のこの一年

同窓祭実行委員会委員長 宮崎 一雄 (42C)

平成30年6月24日(日)に「第33回 千葉工業同窓祭・同窓会 創立65周年記念」がJFEみやぎ倶楽部にて開催されました。当日朝方小雨の天候でしたが、県外や各地区の参加者、吹奏楽OB・OGの皆様等により会場内は混み合っていました。

市原市支部の石川さん(49C)と藤城さん(50E)の進行により、物故者に対し黙祷、以下式次第に従い布施同窓会長、西澤学校長の挨拶、来賓祝辞等と進行了しました。

金子副会長の音頭による乾杯後、喜寿とされる方に会長から記念品の贈呈がなされました。

また、催物として恒例の吹奏楽OB・OGによる演奏や、千葉市支部・嶋村さんによる「大江戸玉すだれ」等が披露されました。

最後に恒例の検見川、津田沼、生実の校歌斉唱で大

変盛りあがり、学ぶ地は異なっても千葉工業同窓生としての一体感を感じた同窓祭も無事終了しました。

【活動状況】

- 平成30年6月24日(日)
第33回 同窓祭・同窓会創立65周年記念 開催
- 平成30年9月28日(金)
支部長連絡会議で結果報告と反省会
- 平成31年2月22日(金)
第34回同窓祭実行委員会

【実行委員長・補佐等会議】

- 平成30年3月13日(火)
- 平成30年5月10日(木)・21日(月)
- 平成30年6月12日(火)・21日(木)
- 平成30年7月27日(金)

広報編集委員会の活動報告

広報編集委員長 若月 忠良 (37M)

京葉銀行文化プラザの閉鎖で、習志野市に場所を変更した。

7月23日同窓会報29号反省会と9月3日同窓会報30号第一回編集委員会は台風のため、中止と延期となった。

【活動状況】

- 平成30年9月10日(土)
会報30号第一回編集委員会 習志野市

- 会報29号反省会 京成津田沼 たか丸
- 平成30年10月27日(土)
会報30号第二回編集委員会 千工会館
当日千工祭実施中
- 平成31年1月12日(土)
会報30号第三回編集委員会 習志野市

●平成30年度～31年度本部役員

役職名	氏名		
会長	布施 敏雄 (41E)		
副会長	若月 忠良 (37M)	金子 衛 (38M)	宮崎 一雄 (42C)
	藤井 孝 (42M)	富田 博 (44M)	
事務局長	長嶋 孝雄 (42E)		
事務局次長	中村 啓介 (60E)		
会計	松浦 悟 (53E)		
会計監査	宇野 昭房 (34M)	高石 進 (35M)	斎藤 公彦 (37C)
レディス・ピオラ	古川千枝子 (38C)		

●会員の状況

科別	工業学校					工業高校		総計
	本科	第二本科	二部	補習科	併設中	全日制	定時制	
全日制	工業化学科	562	184	88	44	180	4,556	5,614
	機械科	303	175			183	4,316	4,977
	電子機械科						2,447	2,447
	電気科	288	159			182	5,553	6,182
	情報技術科						1,716	1,716
定時制	電気科							1,249
	機械科							1,451
合計	1,153	518	88	44	545	18,582	2,716	23,646

(平成30年3月31日現在)

第66回 母校文化祭 千工祭への参加

藤井 孝 (42M)



- (1) 生徒の自主性・創造性の育成とその機会とする。
- (2) 部活動・委員会・各工業科は日頃の活動成果の発表を通じ工業高校としての伝統と特色を披露する場とする。
- (3) 校訓 自主責任・勤労愛好・信義礼譲を实践する機会とする。

●日時／10月25日(木) 事前準備

(各支部指定パネル設置、12時頃)

10月26日(金) 校内公開(9時～14時迄)

10月27日(土) 一般公開(9時～14時迄)

●場所／1階 EM2B教室

●展示内容はA1アルミ製パネル2枚に写真、支部活動内容を入れて展示。

●ふれあい交流広場を設置し同窓会と校内交流、歓談の場を提供した。

●電子黒板内臓のプロジェクターを使用し同窓会関係のDVDを投影。

同窓会 ふれあい交流広場



同窓会活動を説明

各支部に連絡し、25日は支部長、千工祭関係役員に来ていただいて準備をし、27日の一般公開まで多数の皆さんにご協力をいただいて無事に終了しました。

この日、南総支部の方がDVDを作成したという話があって、それを持参していただきました。同窓会で母校創立80周年で寄贈したプロジェクターがあるんだからそれを使ってやってみたら、その中に亡くなった東葛支部の前支部長だった吉田勝彦さんが登場している千葉工業高校時代のラグビーの練習試合がありま

した。

昨年から、せっかく同窓会で寄贈したプロジェクターがあるんだから活用できたらいいなと思っていたことが急遽できることになりました。来年度から使いたいと思います。

今回、各支部長も見てるので話し易いと思います。そういう方向で今年の報告書をまとめました。



千葉工業同窓会は、県下にある7支部と本部が連携をとりながら活動しています。母校部活動(関東大会・全国大会出場)への助成や会員相互の親睦を深めるため、それぞれ支部独自の活動や本部主催の行事等に意欲に参加しています。平成30年度の総会に於いて、布施敏雄氏(41E 千葉市支部)が第7代会長に選任されました。5月の母校創立記念講演会は、松崎譲二氏(40M マナオルゲルパウマイスター)に『パイプオルガンに魅せられて～歴史とそのしくみ～』について。文化祭(千工祭)には、本部・各支部の活動をパネルで展示発表。

平成30年度の主な活動を紹介します。

- 平成30年 4月 7日 入学式
 8日 外房支部総会
 15日 千葉市支部総会
 5月 6日 京葉支部総会
 10日 常任幹事会
 13日 市原市支部総会
 26日 総会
 30日 支部長連絡会議
 6月 2日 北総支部総会
 10日 東葛支部総会
 24日 第33回同窓祭・同窓会創立65周年
 7月10日 生徒会・同窓会連絡会
 10月27日 千工祭(一般公開)
 平成31年 2月16日 同窓会・学校・(一財)千工会 連絡会議
 22日 支部長連絡会議
 3月 4日 同窓会入会式
 5日 卒業式
 10日 南総支部総会

平成30年度同窓会予算

収入の部 (単位:円)

科目	予算額
繰越金	4,206,856
同窓会入会金	1,470,000
千工会助成金	2,000,000
同窓会寄付金	500,000
同窓祭会費	500,000
雑収入	0
合計	8,676,856

支出の部 (単位:円)

科目	予算額
文化費	300,000
会議費	100,000
旅費	400,000
通信費	20,000
同窓祭費	650,000
支部助成費	735,000
レク活動費	50,000
環境整備支援費	10,000
事務費	80,000
会報発行費	1,800,000
渉外費	400,000
母校周年行事積立金	400,000
予備費	3,731,856
合計	8,676,856

寄付金のお礼とお願い

千葉工業同窓会長 布施 敏雄、本部役員一同

平成30年度寄付金は、339名、寄付金合計は109万1千円でした。誠にありがとうございました。

同窓会本部の予算は、卒業生の同窓会入会金(5千円)と同窓会寄付金、および一般財団法人千工会の助成金で活動しています。平成30年より(一財)千工会助成金は300万円から200万円に減額され、さらに減額されると考えられます。

同窓会本部は活動資金の経費節減を図りますが、今後も厳しい活動が考えられ、会員の皆様のご理解をよろしくお願いいたします。

同窓会報は、宅配、郵便料金の値上げにより送料は

会報発行費予算の半分以上になります。

会報発行は29号より13,500部から10,000部に削減しました。

配布先は平成元年までの卒業生、在校生、職員、旧職員、寄付金者及び同窓祭参加者としました。

千葉工業同窓会ホームページでも閲覧できます。

*寄付金は一口1,000円 何口でもいつでも受け付けます。郵便局の振込口座番号は最終ページをご覧ください。

*同窓会本部連絡ハガキを同封しますのでご利用ください。

「南総支部長」就任にあたって

白井 正男 (40M)



同窓会に関わったのは入社後間もないことでした。先輩が早速、歓迎会を開いてくれました。酔った私はその晩、先輩の家に泊めてもらい、翌朝の帰宅となりました。

昭和40年末に職域の同窓会「くれない会」が発足し、その後毎年後輩を迎え入れ、大きな会になりました。定年を迎えた人も多いので久しぶりに集まろうかとOB会が平成30年9月に開催され、懐かしい会話に盛り上がりました。

南総支部に入会したのは市原市の社宅から木更津へ戻った昭和56年で、顔見知りの先輩は2人でした。編集委員の補佐としてスタートしてから、事業部長、編集長、事務局長を担当してきました。今年の総会で支部長の大役を引き受けることになりましたが、今更ながら責任の重さを感じています。我が南総支部の会員の半数は生実の卒業生になり、定年を迎える人も出て来ました。

同窓会本部の規約もこれらに対応できるようにと一部見直されました。南総支部の活動も停滞は許されないと思います。今日まで築いてこられた先輩方の熱い思いと伝統、風土を引継ぎながら、次世代（生実）へのバトンタッチをして行きたいと思っています。

現在、ちば余暇会と言う団体に所属し、県下の仲間と情報交換やお互いの趣味・特技を活かした活動をしています。定年後の人生20年、80歳までは生き生きと過ごすためのノウハウを学び、実践しています。しかし、今や人生100年時代と言われるようになりました。元気で活躍されている先輩も多くいます。同窓生皆さんの特技、趣味、体力、技術力、知恵を結集できるような活動が出来ると良いなと思っています。

昔から人前で話すのが苦手でいろいろご迷惑をおかけすることがあると思います。前任の鳥飼支部長に変わらぬご支援とご協力をお願いして、就任のあいさつと致します。

支部紹介と定期総会予定

千葉工業同窓会には、千葉県内の7つの地域に支部があります。毎年、各支部が活発に活動され、同窓生の親睦と交流が行われています。若い同窓生・現役・シニアすべての卒業生の加入を歓迎しています。

各支部は、出身地・勤務地に限らず入会が出来ますので気軽に問い合わせください。総会・懇親会・本部・支部の行事等ホームページ・同窓会報をご覧になって一度足を運んでみませんか。お待ちしております。

支部名	地 域	月日(曜) 開催時刻・場所	支部長・連絡先	HP
南 総	館山市、南房総市、鴨川市、鋸南町、富津市、君津市、木更津市、袖ヶ浦市	3月10日(日) 14時 君津市：ホテル千成	白井 正男(40M) 080-3250-9725	○
外 房	勝浦市、御宿町、大多喜町、いすみ市、睦沢町、一宮町、長南町、長生村、白子町、茂原市、長柄町、大網白里市、九十九里町、東金市、山武市、芝山町、横芝光町	4月7日(日) 13時30分 東金市：八鶴亭	深山 潔(36E) 090-4531-1807	
千葉市	千葉市	4月14日(日) 14時 千葉市：ホテルプラザ菜の花	腕木 武男(38E) 080-1327-5713	○
京 葉	船橋市、習志野市、鎌ヶ谷市、八千代市	5月19日(日) 14時 船橋市：割烹旅館 玉川	池沢 敏夫(32C) 090-3344-2757	
市原市	市原市	5月12日(日) 14時 市原市：五井グランドホテル	石川 尋志(49C) 090-2623-6832	
北 総	四街道市、八街市、佐倉市、酒々井町、富里市、白井市、印西市、栄町、成田市、神崎町、多古町、香取市、東庄町、匝瑳市、旭市、銚子市	6月2日(日) 14時 佐倉市：ホテルリッチタイム	中村勇三郎(38M) 090-4531-1887	
東 葛	浦安市、市川市、松戸市、柏市、我孫子市、流山市、野田市、県外	6月9日(日) 13時 我孫子市：鈴木屋本店	坂巻 実(34M) 080-5023-5927	○
レディス・ビオラ	女性の同窓生	春・秋 2回	古川千枝子(38C) 080-1213-1297	

※開催場所・日時は変更がある場合があります。各支部・同窓会本部ホームページで確認ください。

南総支部とびくす

支部長 白井 正男(40M) 080-3250-9725

●定期総会 日時／3月10日(日) 14時
場所／君津市 ホテル千成

南総支部に入会させて頂きました



この度、南総支部に入会させて頂きました、平成29年電気科卒の篠原 隼平と申します。出身中学は千葉市立小中台中学校で、高校には稲毛からJR線を利用して通学していました。

在学中は、資格の取得と部活に力を入れていました。部活は電気発明創作部(電発)と文芸同好会に所属し、文芸同好会では会長も務めさせて頂きました。電発では、学校説明会や、さぼーる・成田イオンモールで開催された電子工作教室で、裏方や他の部員の補助をメインに活動していました。

文芸同好会では毎年、会誌「檸檬(れもん)」を作成し、文化祭で無料配布していました。兼部をしていた為、文化祭の準備の時には、部活2つとクラス、委員会の仕事も重なり、いつも忙しく動き回っていました。制服のポケットから栄養ドリンクの空ビンが落ちた時に、やたらと心配されたのを覚えています。

卒業後は日鉄住金テックスエンジ(株)に就職し設備メンテ

しゅんべい
篠原 隼平 (H29E)

ナンスの職に就き、富津にある会社の寮に住んでいます。上司、先輩からの手厚い御指導を受けながら、日々仕事をしています。

プライベートでは、同級生や部活の仲間と定期的に連絡を取り、暇があればカラオケや買い物に行っています。

家族は両親と、妹2人の5人で、就職後も1ヶ月に一度は実家に顔を見せに行ってます。最近は、中古車情報を漁りながら、自分の初の相棒となるクルマを探しています。その為に小遣いは殆ど貯金しています。小さい頃からクルマが大好きなので、ミニカーを飾ったり、レースゲームで遊んだり、街中でクルマを眺めていたりします。

また、「けものフレンズ」が大好きで、イベントに参加したり、グッズを集めたりしています。他にもPCの改造をしたり、科学関係の本を読んだり、様々なことをしています。

まだまだ顔と名前が一致しない事や、失礼な事をしてしまうかもしれませんが、少しでも同窓会を盛り上げるお手伝いが出来ればと思っています。どうかよろしくお願いします。

外房支部とびくす

支部長 深山 潔(36E) 090-4531-1807

●定期総会 日時／4月7日(日) 13時30分
場所／東金市 八鶴亭

青い目の人形

こうたき
香焼 正利 (38E)



昭和2年(1927年)春、シドニー・ルイス・ギュリック達が組織している「世界児童親善会」から、「日本国際児童親善会」(会長渋谷栄一)に12,739体の人形が託され、日本の小学校・幼稚園・図書館に配布された。アメリカの子供たちから、雛祭りを祝う日本の子供たちへ贈られ

た「友情の人形」(Dolls Of Friendship)の中の一体が、成東小学校所蔵の「アリス・プレーブル」という名前の人形である。

大正14年(1925年)の日本移民を締め出す「新移民法」の成立をめぐって、日米間の国民感情が悪化した事を憂えて、子供同士の「人形交流」を契機として将来の日米の親善友好を育てたいとの、ギュリック達の念願と努力が実ったものである。

日本では、「親善の人形」と称し、また通称「青い目の人形」と呼んで歓迎した。そしてこの人形使節の答礼に、58体の高級日本人形が、クリスマスまでにアメリカに贈られた。

しかし太平洋戦争が始まると、この「友情の人形」は「敵国の人形」として竹槍で突いたり、軍部から焼却命令が出され処分されたものが多く、現存している人形は全国で300体あまりにすぎない。県内では214体中10体保有されているが、成東小学校の人形は当時の洋服でパスポートも大切に保存されている。

高さ僅かに40センチの、「青い目の友情の人形」には、日米「親善と敵対」の時代史が秘められているのである。

野口雨情の♪青い目の人形♪はセルロイド製と唄われているが、この人形は パルプ・おが屑・土で作られている。



千葉市支部とぴくす

支部長 腕木 武男(38E) 080-1327-5713

●定期総会 日時／4月14日(日) 14時
場所／千葉市 ホテル・プラザ菜の花

友人は戦国最弱武将の末裔

宮崎 一雄 (42C)

昨年6月にNHKで放送された歴史秘話ヒストリア「戦国最弱武将」を見られた方もおられると思います。常陸(茨城県)の小田城(つくば市)の城主を務めた小田氏治の話でした。北条家、上杉家、佐竹家による勢力争いで北関東の情勢が複雑化するなか、氏治は九回も居城を落とされるなど敗戦を重ねたが戦死することもなく、家臣と領民に愛され家名を守り続けた。最後は豊臣秀吉の小田原城攻めに参陣しなかったことから所領を失い大名としての小田家は滅亡したが、その子孫は、現在の茨城県石岡市あたりの宮部家へ養子に入り小田家の血は脈々と守り続けられているとのことである。

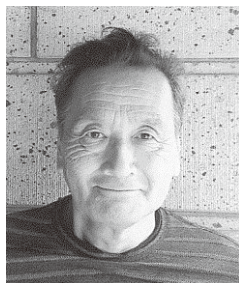
そして現在28代目、この人が千工卒業生であり友人の宮部さんなのです。

思えば、高校時代に彼から「先祖は大名だけど弱くて!」と聞いた気がする。当時はそれが小田氏治とは知らず、最近になって認識を新たにしたところです。

歴史に「もし」は無いけれど、氏治が戦いに勝っていたら、大名としての小田家が続けていたら友人の

宮部さんは小田さんだったかも知れない。そして「宮部さん!」なんて気軽に呼んでいるけれど、世が世ならば小田家のお殿様だったかも知れない。宮部さんの顔を思い浮かべながら書いているが想像するだけでも楽しい。

最後に宮部さんからの伝言です。筑波方面にお出かけの際には是非小田城趾公園に寄って、戦国最弱武将と言われた小田氏治に思いをはせて欲しいとのことですよ。



宮部さん



市原市支部とぴくす

支部長 石川 尋志(49C) 090-2623-6832

●定期総会 日時／5月12日(日) 14時
場所／市原市 五井グランドホテル

「チバニアン」と「いちはらくオードの森」

伊藤 洋一 (56M特)

前号で、「地質時代「チバニアン」喜ぶのはまだ早い」と紹介しましたが、その後、この「チバニアン」が2018年10月15日に国の天然記念物に指定されました。

この「チバニアン」の命名を巡っては現在「国際地質科学連合」が審査中で、今回の国の指定が「チバニアン」認定の強い後押しになることが地元では期待されています。

この「チバニアン」は市原市田淵地区にあり、アクセスは小湊鉄道の「月崎駅」だが、同じく「月崎駅」周辺の市原市柿木台地区にある「いちはらくオードの森」と言う四季を通じて自然を満喫できる公園施設があるのを皆さんご存知だろうか? 園内は春から初夏にかけては菖蒲や紫陽花が咲き乱れ、夏はキャンプ場として賑わい、秋から初冬にかけては紅葉が楽しめます。又、園内には総ヒノキ造りの足湯があり無料で利用出来るのが嬉しい。

でもこの「いちはらくオードの森」最大

の見所は、何と言っても12月から1月にかけて設定されるクリスマスイルミネーションであろう。袖ヶ浦市にある「東京ドイツ村」のイルミネーションは超有名だが、これに負けず「いちはらくオードの森」のイルミネーションも雄大なスケールで、訪れた人を幻想的世界へと導いてくれます。

皆さんも是非一度は家族や恋人と一緒に出かけしてみても如何でしょうか。最後に「いちはらくオードの森」の入園料は無料です。



国の天然記念物指定の看板
市原市役所ロビー



いちはらくオードの森

京葉支部とぴくくす

支部長 池沢 敏夫(32C) 090-3344-2757

●定期総会 日時／5月19日(日) 14時
場所／船橋市 割烹旅館 玉川

京葉支部の活動拠点 船橋市 割烹旅館 玉川 高橋 博(49C)

京葉支部が総会や行事でお世話になっている割烹旅館玉川を紹介します。場所はJR・東武鉄道・京成電鉄の各船橋駅から南に徒歩で約10分の船橋市役所の近くにあります。

駅前商店街、ビル街、高層マンションの中を抜けていくと突然タイムスリップしたように古い日本建築の大きな瓦屋根の建物が現れます。この旅館は、大正時代に建築され、国登録有形文化財にもなっており、2020年には創業100年を迎えます。

館内は絢爛豪華な着物を使った大胆な装飾が施され、大正ロマンの佇まいとともに昭和のレトロな雰囲気も漂っています。当時の家具や置物もそのまま使われており、窓ガラスも昔の歪みのある板ガラスが残っており、窓越しの景色も風情を感じることができます。ロビーには多くの有名人が訪れた跡が残っており、作家の太宰治が滞在し、小説を執筆したことは有名です。

3代目の女将さんは、この旅館の生まれだそうです。気さくな人で、和服姿でいつも笑顔で出迎えてくれます。会場をここに選んだのは、平成8年3月に船橋オートレース場で開催され

た支部創立総会では、会員数が195名、来賓を含めた出席者数が116名であったことから、収容人数が十分あり、料金の手ごろな場所を探したところ、地元の諸先輩、職域千工会及び事務局を務めていた船橋市役所千工会の推薦があり、市役所職員も親睦会等でよく利用していることと、温泉の無料サービスも大きなポイントになり決めました。毎年2～3回利用してくれるということで、特別な配慮をいただき、今でも変わらない料金でお世話になっています。

住所 船橋市湊町2の6の25

電話 047(431)3234



昭和初期の旅館玉川



北総支部とぴくくす

支部長 中村勇三郎(38M) 090-4531-1887

●定期総会 日時／6月2日(日) 14時
場所／佐倉市 ホテルリッチタイム

北総四都市（佐倉・成田・佐原・銚子）江戸紀行 遠藤 清司(41C)

百万都市 江戸を感じる町並み

北総の古い都市が千葉県内で初めて日本遺産に認定されました。(2016年4月)

- ・申請者：千葉県(佐倉市、成田市、香取市、銚子市)
- ・タイプ：シリアル型(ネットワーク型)
- ・認定者：文化庁

北総地域は、百万都市江戸に隣接し、関東平野と豊かな漁場の太平洋を背景に、利根川東遷により発達した水運と、江戸に続く街道を利用して江戸に東国の物産を供給し、江戸の暮らしや経済を支えた。

こうした中、江戸文化を取り入れることにより、城下町の佐倉、成田山の門前町成田、利根水運の河岸、香取神宮の参道の起点の佐原、漁港・港町、そして磯めぐりの観光客で賑わった銚子という四つの特色ある都市が発展した。これらの四都市では、江戸庶民も訪れた4種の町並みや風景が残り、今も東京近郊にありながら江戸情緒を体感することができる。成田空港からも近いこれらの都市は、世界から一番近い江戸といえる。

以上の四都市は、いずれも北総支部の地域に含まれてお

り、これらの地域に詳しい会員もおられると思いますのでシリーズ的に今後関連記事を掲載する予定である。ほくそう54号では、大野顧問により露払い的に各都市に関わる人にスポットを当て、総括して頂きました。これにつきまして、次号以降で順次掲載していく予定です。



佐倉市武家屋敷



成田市成田山参道



佐原山車行事



銚子市外川漁港の町並み

東葛支部とびくす

支部長 坂巻 実(34M) 080-5023-5927

●定期総会 日時/6月9日(日) 13時
場所/我孫子市 鈴木屋本店

秋季恒例の「BBQ」、アリオ柏で開催

金子 賢二 (34M)

昨年9月末は超大型台風が関東を縦断し、“塩害”という大きな被害をもたらした。10月に入り「秋晴れ」を期待したが、残念ながら肌寒さを感じる曇天でした。

常磐線我孫子駅前からBBQ施設がある「アリオ柏」への直通シャトルバスがあるというのでバス停を探したところ、すでに40人位が並んでいた。後尾に向かったところで仲間3人が合流、発車時には50人程が乗車した。つり革につかまり窓外を眺めながら終着バス停までの約20分、昨年のBBQの事や同窓会の話などをしていった。

会場は昨年でも使用したので広い場所ながら方角は心配なし。早速、係員に到着を告げるとBBQの準備は整っていて10分もすると全員が集合。前段の「定例会」は9月に逝去された前支部長・吉田勝彦氏の冥福を祈る黙祷で始まり、ついで坂巻支部長から本部報告がなされ、質疑が終えたところでBBQ開催となった。

まずはジョッキを高々とあげて乾杯、支部総会から4ヶ月ぶりの顔合わせに喜びの笑顔が嬉しい。焼物担当は一番若い加藤氏に奮闘してもらい、ひとしきり故吉田前支部長の話題



から先輩諸氏の動向、また、紙トンボの普及に奔走する鎌形氏の活動報告などがあり、11月に行われる「男の料理教室」の話で盛り上がった。メインのBBQは、飲み放題のビールやハイボールと共に焼物担当の力作を頼張る。

所定時間はアツという間に来てしまった。BBQ終了後は鎌形氏持参の紙トンボを全員で飛ばそうと広場に繰り出した。幼児連れの親子や学校帰りの高校生も近寄ってきて、紙トンボを競って飛ばし合った。空に向かって飛び出す様子に大声を出して楽しんでいる姿が帰路の土産となった。

女子会“レディス・ビオラ”

連絡先 古川千枝子(38C) 080-1213-1297

●女子限定
春・夏 年2回

高橋 実里 (H6IE)



10月13日土曜日 千葉そごうにある「天一」と言うお店で「レディス・ビオラ 秋の集い」が開催されました。私は初めて行くお店でしたが、レディス・ビオラとしては2度目と言うことで、前回と同じ席で美味しい和食ランチを頂きました(^^)

今回は他の予定と重なり、参加できない方が多く4人と言う少し寂しい開催となってしまいました。その日の話題の1つに「来る途中の電車で校長先生に会ってビックリした」と言う話があり、たくさん電車も車両もあるのに、千葉工業関連の会に参加する途中で学校の関わり人と会うなんて、凄いなと思いつつ、女性だったら先生でも飛び入り歓迎だったなと思っていました。

思い返せば4年前の春、レディス・ビオラの発足会議から参加させて頂き、春と秋の食事会やレディス・ビオラとして支部総会などに参加させて頂き、懐かしい先生との再会やたくさんの方と出会うことが出来た事を私はとても感謝しています。

今回の食事会では、先輩方の学生だった頃と私たちが学生だった頃の話をしてしながら、所在地が違うこともあり部活や実習など全く違った環境で学生生活を送って来たことを実感しましたが、何だかとても楽しそうに感じました。定期的にクラス会があるのも、納得な気がします。

二次会があり♪

カフェスペースでの紅茶とケーキのまじりに女子会でした。レディス・ビオラも少しずつメンバーは増えていますが、まだまだ人数も少なく行事も少ないですが、私が卒業した数年後から、生徒会長がずっと女性と言うことを聞き、もっとメンバーを増やして活動の幅が広がればと思いました。

次回は4月『春の集い』を開催予定です。レディス・ビオラにご加入されていない方でも参加は可能です。

お気軽にお問い合わせ下さい。

高橋 実里 (H6IE) 090-9394-8639



卒業してから55年、同窓会北総支部に誘われて20年が過ぎました。これまで「千葉工業と私」に投稿された方々とは、大分異なります。

初めて「千葉工業高校」の門をくぐったのは、昭和35年3月1日。薄曇りの朝、中学の付き添い教師と共に受験に臨んだ。校庭は弱風にも関わらず、サッカーのゴールポスト前に、砂塵が小さな渦を巻いていた。次に目に入ったのは、外便所の前に置かれている「真っ黒な大薬缶」その口には乾いた石ころが一つ置かれていた。なんとも不思議な景色。

この殺風景な画像は、今も頭から離れない。

入学すると、女子生徒は工業化学3年生の1人と、1年生の私達4人、電気科1年生の2人の7人のみ。衆人環視の中、カサカサに渴いた高校生活が始まった。

「布カバン」「黒運動靴の上履き」「砂埃でザラザラの教室」「女子トイレは本館まで」さらに、クラスの男子に話しかけるとスーと逃げる。沈黙の一日が過ぎ、へとへとで帰宅。2時間余り寝てしまう日々が2ヵ月程続いた。中間試験が終わるころ、アキラメモードとなり、柔道・剣道の授業にも、添え物のように加わった。「角田先生・村越先生」のご苦労はいかばかりであられたかと、思われます。

機械科の田辺先生は、「自転車に乗れるんなら」と、原付バイクを、次は「自動車部」と無理矢理引っ張られたが、車は面白かった。

夏休み、「1ガロン缶」をぶら下げて前原の交差点にあったGスタンドまで、同級の「江成さん」と買いに行き、そのガソリンが無くなるまで「ダットサン」で練習、桜の木に衝突したり、S字・クランクに乗り上げたり。当時の自動車部の先輩方にはご迷惑だったでしょう。お陰様で後に免許取得の時スムーズに通過



文化祭自動車部の車庫前筆者は右から2番目 (1960.9.24)

しました。

化学科の実習室は、素晴らしかった。外観は「赤レンガ造り」内装は薄暗い板張り、床はタタキ、夏は涼しく、蝶々も蚊も飛んでくる。外では、小学生達が「昆虫採集」。マクロの試験管を擦り乍ら見ていた。

馴れるにつれ、学校側も少しずつ改良の方向に。女子生徒6名が一度に入学したのですから。景山校長先生の大きな体は、とても安心感を与えて下さいました。そして「佐々木先生」保健室に行くと、教室の冷たさは無く、安心感と温かさに包まれました。

2年、3年と進級する毎に女子生徒も増え、20人を超えました。体育祭に「フォークダンス」が取り入れられたり、男子の髪髪規則が改善され「女子の制服」を考えるなど、変化が見られました。

卒業・就職の時期になりました。当時は高度成長期の初期で就職先は引く手数多の状況でした。が、女子生徒の募集は皆無。「工業高校に女子生徒がいる」ことなど、企業側は知らないのです。

「どこか、縁故がありませんかねえ」と言われる具合でしたので、自ら数社に手紙を書き、採用試験の応募が可能か、否かを訪ねた。

1社から、受験許可の返事をいただき1次はパスし、2次試験を待つ間に、「学校の就職説明会」に先輩が来られた「ライオン油脂」から受験を許可され、採用通知が届きました。

入社後「千葉工業の先輩」から、「女性は、いい人を見つけて結婚しなさい」と言われ、がっかりしました。配属されたのは研究所の第四研究室、「生化学系の室」でした。殆どが大学卒の方です。分析も、機器分析が主流、マイクロ単位の結果が出ます。ラットを使っている試験なども経験しました。

残業は当然のように有り、西千葉駅に父親の迎えを頼んだりしました。あまり丈夫でなかったのでしょうか、2年目に「脊髄炎」を患い何とか復職しましたが、無理と思い退社しました。社内の千工先輩の言われたとおりになりました。体調の芳しくない時期の通勤電車内で、千工卒業生のI先輩にお世話になりました。きちんとお礼を申し上げずにお別れしたことを申し訳なく思っています。

佐倉に嫁いで50余年、北総支部とのご縁も出来、少し罪滅ぼしができたのではないかと考えております。

4年前千工同窓会に女子卒業生を対象に「レディス・ビオラ」が発足しましたが、広がり方が今一つ、女子卒業生の参加を切に希望します。

北総支部「ほくそう」第51号より転載

恐るべし津田沼校歌「千葉工業の歴史を語る」の反響 金子 衛 (38M)



♪松風騒ぐ 丘の上
古城よ独り なに偲ぶ
栄華の夢を 胸に追い
あ>仰げば侘し 天守閣

これは皆様ご存知、その昔三橋美智也が歌い大ヒットした「古城」という歌謡曲です。

私は平成29年4月発行の「ほくそう」第51号に“朗読のつどい 「こおろぎの輪」に参加して-千葉工との繋がりに驚愕-”というエッセイを投稿させて頂いた。

この内容は佐倉市出身で大正7年にパイロットとなり、その後航空学校を創設、多くの航空人を育成した飯沼金太郎についての偉業を紹介したものである。

この話の最後に航空学校の校歌の紹介があり、そのフレーズが津田沼校歌のフレーズ「千葉工業 千葉工業 我等 我等 我等!」にそっくりであったが、何と作詞者が津田沼校歌の作詞者である松村又一氏であったことに驚いたという内容である。

実はこのエッセイを読んでいた第14代校長の永峯清秀先生から、「金子君 津田沼校歌の作曲者もとても著名な人なんだヨ!」と言われたが、特に調べる事もなくそのままにしていた。

今回の話はここからスタートする。

先日TVのBS番組「昭和偉人伝」という番組を見ていた。この日は往年の流行歌手・三橋美智也がとり上げられ、その偉業を紹介していた。

三橋美智也は多くのヒット曲を出しているが、最大のものは

“古城”という名曲で、実に300万枚のレコード売り上げを記録したとか。

そして歌の紹介が映像で流され、この歌は作詩:高橋掬太郎 作曲:細川潤一と表示された。

この時私の脳に強い電流が流れた。

「ことによって津田沼校歌の作曲家と同じ人ではないか?」

同時に以前永峯先生から言われた“作曲も凄い有名な先生による校歌だヨ”と言われたことが思い出され、早速同窓会報第28号に書かれていた第5代校長の景山先生の「千葉工業の歴史を語る(その壱)」で確認した。

その結果紛れもなく作曲は細川潤一さんで、「初代同窓会長の安藤四郎さんの義兄にあたる細川さんに作曲をお願いした」との記述がある。

と言うことは、千葉工業の津田沼校歌は、作詞も作曲も当代一流の凄い先生をお願いして作られたというものであり、改めてその素晴らしさを実感した次第。

正に『恐るべし 津田沼校歌』である。

因みに細川潤一さんのプロフィールであるが、大正2年福岡県生まれ、古賀政男に刺激を受け上京し、キングレコードの専属作曲家となる。

主な曲は古城(昭和34年)の他、マロニエの木陰(昭和12年)、一本刀土俵入り(昭和32年)、おさげと花と地藏さんと(昭和32年)、東村山音頭(昭和38年)他、三橋美智也の曲を初めてとして多数。

昭和58年には勲四等瑞宝章綬章、同年日本レコード大賞特別賞受賞とのこと。

北総支部「ほくそう」第51号より転載

ビフォー・アフター

長谷川 敏一 (39M)



◀ 三股 常清



◀ 渡辺 康寧



◀ 渡辺 照忠 (E)



◀ 豊田 博志



◀ 織戸 清



◀ 野口 浩



◀ 石川 保



◀ 菅沢 功

昭和39年卒の機械科と電気科の有志が、12月4日に津田沼に集まりミニ同窓会を行いました。旧交をあたためながら、久しぶりのクラス会開催をすべきと決まりました。(万年幹事の菅沢氏が主導したものです)

そして、卒業アルバムの写真をタブレットに取り込んだ画像で盛り上がり、ついには、各自の青春の顔をうっとりとながめて写真に納まりました。

定年後はキャンピングカーで世界一周と 現実は百姓にはまって身動き出来ず

市原市支部 石川 尋志 (49C)

定年まではまだ少し時間が有った五十歳頃、その時になってあたふたとすると時間の無駄が生ずると思ひ、幕張メッセで開催されていたキャンピングカーショーに行ってみました。定年後はキャンピングカーで日本一周してみたいと思ひ、ぼんやりとトレーラータイプが切り離しができて良いと考えていたんですが、軽自動車のキャンピングカーが出展されており、その機能性がすっかり気に入ってしまいました。維持費も安いし、省スペースなのも良いな!と、思いました。まだ、出展数も少ないけど、あと十年もすれば、定年時には沢山のメーカーが参入し、もっと自分にピッタリの一台が見つかるだろうと思っていました。

写真が好きで、その昔、アポロ計画で採用されたカメラを買い、主に子供の写真と風景写真を撮ってきました。近所に写真の先生が居る事がわかってからは、先生の山岳写真に魅かれ、重たい三脚に交換レンズに無線機(一応アマチュア無線の有資格者でコールサインも持っていました)を背負って沢山の山に登ってきました。

キャンピングカーを買ったら、桜前線の北上に合わせて南は九州から北海道まで、太平洋側と日本海側、仕上げは内陸部と、三年計画です。

近年は、道の駅やオートキャンプ場も全国的に整備され、その土地の名産品なども簡単に手に入る時代になりました。蕎麦好きなので、一食は蕎麦を食べて歩くのも良いですね!

SNS(ソーシャルネットワークサービス:フェイスブック、ラインなど)に桜の写真と蕎麦の写真。その時に感じたことを書き込んで、お友達と交流。観光客があまり行かない穴場など教わりながらお気に入りのワンショット…

イヤ～楽しくてたまりません!

気が付けば、住所不定

支部総会の5月は、いつも北海道から欠席の連絡です。で、実際、今は何をしているか?

♪それでも過去達は 優しく睫毛に翳う

人生って 不思議なものですな♪

市内やご近所の放置竹林対策で、竹炭作り頑張ってます!

面白い特許製品の「無煙炭化器:モキ製作所」を使い、効率的に高性能な竹炭ができます。何と、電気が流れる程炭化率が高いです。

製品の竹炭は、農業利用して美味しく安全な作物づくりに活用です。特にマメ科植物との相性は抜群です!!!マメ科植物だけでなく、土壌改良剤として抜群の性能があります。厄介者の放置竹林が、私には宝の山に見えます。

そして放置竹林対策の一環で、昨年12月10日に京都に全国のおバカ(22府県)が集結して「国産メンマプロジェクト」がスタートしました。私達が食べているメンマのほぼ100%が中国を主とした輸入品です。

失敗を恐れない里山保全団体(現在は、市内2団体と地域活性化のNPO)と社会福祉法人のコラボ事業でスタートしました。今春が初チャレンジです。

1月24日には、宇都宮市の若山農場様に総勢25名で視察に行きました。何と、「失敗談」を聞きに行ったんです。

♪ああ 未来達は人待ち顔して微笑む
人生って 嬉しいものですね♪

環境とエネルギー、食料、いつも頭から離れません…

同窓会を通じて人の環がつながることは、幸せなことです。

では、どんな百姓をやっているの?…

一つめは、食料とエネルギー(電力)の両方が生産できる百姓です。平成26年6月に運用を始めたソーラーシェアリングで、名前を「縁ga環(エンガワ)」と名付けました。この記事は既報でご存知の事と思います。昨年は、サトイモ、サツマイモ、ラッカセイ、ダイズを作付けし、有機栽培で美味しい野菜として収穫することができました。



昨年の台風22号で少々痛い目に遭いましたが、川島智先輩(36E)の会社にご支援を頂き、エネルギー生産を続けることが出来ました。

二つめは、地域資源を活用した百姓です。上の写真は、放置竹林対策で竹を土壌改良剤の炭にするために炭化(燃焼)しているものです。この炭を畑や田んぼで活用した農業です。



三つめは、現状維持+αの百姓です。市街化区域の目の前に広がる故郷の田んぼは湿田が多く、機械化(大型化)が難しいところがあります。こういった農地を数十年耕作されていない田んぼでは、畦の部分に木が生え、鋸で伐ることが困難な太さに成長しているところもあります。昨年から少しずつお手伝いし、木の伐採は一ヶ所終了ですが、まだ大木が3本程葎山と化した中にそびえています。今シーズンは、これを伐採し、薪や炭を作る予定です。

また、昨年からは休耕田で畝立てをして秋播きタマネギを栽培し、今年は更にサツマイモを栽培しています。はたしてサツマイモは収穫できるか？

これからどのような百姓を目指すか？

畑では有機栽培に取り組んでいますが、田んぼは化成肥料に加え除草剤のお世話になっていますが、これからは、田んぼでも有機栽培を目指していこうと思います。

これって、学校を間違えた話しかも知れませんが…(@_@)
(竹炭を入れて栽培している落花生 上部の細かい板状のモノはソーラーパネル)
(稲刈り前の田んぼ…何か変革をしたい…が、難しい)
学校を間違えた……

高校を卒業して社会人になった時、ちょっとした人事の悪戯があり、思っていた職場に配属されませんでした。でも、係長も課長も、そして局長まで上司が皆千葉工業の先輩

でした。これには驚きました。学校で習ったことは初歩の初歩、でも、化学(バケガク)の入口、つまり門は既に開いていましたから、少しずつ勉強し、技術者の端くれとして無事に定年を迎える事ができました。卒業間近の業務は地球温暖化対策。その昔、「公害」が社会問題でした。

今は私達一人一人が温室効果ガスを発生させる当事者で、気候変動への対応が求められており、高度経済成長の時とは異なったライフスタイルが必要です。日本の農業は世界一農薬を使っている農業です。百姓も変わって行かないと生き残れないと思っています。

定年後も先輩や後輩(とても少ないことが気がかりです)と交流を重ね、これからも知識と経験を活かし百姓を続けていきます。皆様の更なるご支援、ご鞭撻を賜ります様お願いいたします。

学校は、千葉工業高等学校で良かったです!そしてキャンピングカーは、シバラクオアズケ!です。



創立記念講演 松崎 譲二氏 (40M) 「パイプオルガンに魅せられて」を聞いて

白井 正男 (40M)

平成30年度の創立記念講演会は5月10日(木)に母校体育館で開催されました。演題は「パイプオルガンに魅せられて-歴史とそのしくみ」で講師はクラス(40M)メートの松崎 譲二氏でした。

松崎氏が国内でも少ないパイプオルガンの製作に関わっていることを聞いてはいたが、その内容について知ったのは、TV番組加山雄三の「若大将のゆうゆう散歩」(2014年2月放送)で紹介されたことでした。

同窓会事務局より講演依頼の仲介を取って欲しいとの連絡があり、久しぶりに本人に問い合わせた所「いいよ」と即答がありホットしました。

松崎氏は在学中、吹奏楽部に席を置き、公私にわたり活躍していました。卒業後は海外に渡りパイプオルガンのマイスターの資格を取り、ドイツで知り合った中里さんと共に1985年に株式会社「マナ オルゲルバウ」を設立。パイプオルガンの設計・製作・調律・メンテナンスを行う国内屈指の工房で、調律を担当しているとのこと。手がけるパイプオルガンは形やデザインは設置場所に合わせ一つ一つのオーダーメイド。今後の活躍が益々期待されます。

2~3年毎に開催しているクラス会にも参加され、同級生とも懇親を深めています。



写真はいずれも長谷川さん(南総支部)撮影

『会報で知る同窓会・母校の動向』 ——北九州の地から同窓会への想いを馳せて——

宮崎 司朗 (38M)



天災に加え猛暑の夏が過ぎ、ようやく凌ぎ易くなった10月下旬、参加できなかったクラス会の報告が幹事のKさんから届いた。

出席者の面々は元より、近くに住むアイツが出ていないとか、え〜もう逝ったのかよと、行間に何かを見出そうと集中した。

そんな報告の中に、何の話題も持ち合わせていない私に「『千工同窓会報』に何か書け」との注文で、「断りは許さず」の文言が続く。在学中もリタイヤ後の今も、何一つ他人に誇れるものがない私にである。

北九州市に住むアナログ人間には、母校の、又先輩諸氏及び後輩諸君の活躍等、知る手立てはなく、もっぱら毎年送って頂く『会報』が唯一母校と繋がるものであり、知った顔・知った名前・同世代の思い出等々の記事を最優先で読み、共通の思い出に浸っている。

私が学んだのは昭和35年の入学から38年の卒業までの3年間だ。

今思えば、戦後の復興に目途をつけ、新たな時代への移行期だったろうか。世間では「安保」を巡る学生運動が盛り上がっていた時代であった。

私の進学先につき中学の担任の先生から「お前は何処に行きたいんだ？」と聞かれた。私は即座に「千葉工の機械科に！」と答えたが、先生からは「千葉工なんて無理だ。まして機械科なんて！」と言われてしまった。しかし「どうしても行きたいので受験させて！」と言って、強引に受験した。

その当時は県立の工業高校は市川工と2校しかなかったが、その年京葉工業が開校されたことで全体の合格枠が増え、私の千葉工合格に繋がったのだらうと、今でも思っている。

中学は君津で、それまで千葉市に行ったことも無かった私が、蒸気機関車に乗り、毎日行商のオバサン達と同じ車両での通学だ。千葉駅からはこげ茶色（コーヒー色）の電車に乗り換え、総武線の寿司詰めに耐えて津田沼駅に降り立った。

又、帰りは腹が空いて我慢が出来ず、駅のホームの立ち食いそば屋で一杯20円のそばをかき込み、1時間に1本未満の汽車に飛び乗ったが、毎日が小旅行のような房総西線（現在は内房線と改称）だった。

勉強のことはあまり覚えていないが、実習時の先生の言った「急流の流れ」は言葉として正しいか国語の先生に問い、協道へ誘導したり、コークスストーブをわざとイブして時間稼ぎをしたり、3年生の冬の体育の授業では、柔道部の寒稽古で着た道着の臭さ、冷たさ等、今でも覚えている。

就職活動時は翌年に東京オリンピックを控えた時だった。東京湾の埋め立て地に大企業の進出が続いていたが、君津沖の埋め立て地に進出を決めていた八幡製鐵所（現・新日鐵住金）に何とか滑り込むことが出来た。これがその後北九州に住むことになった所以である。

社会人生活は60歳の定年まで、製鉄設備建設や出向での集塵機製造等、ごくごく一般的なので、特に語るほどのものはない。

「ふるさととは遠きにありて想うもの」。誰が言ったか、今まさにそんな境地にいる私だが、会報の記事に誘われて10数年前、春休み中の生実校を見て回った時、野球部員から大きな声で「先輩、こんにちは」と元気な声で挨拶を貰えた時には、素直に嬉しかったことも思い出した。

今はほぼ毎日風呂付のジムに通い、週に一度は市の高齢者大学で学んでいる。今は8年生だが留年ではない。

カメラ・書道・健康・スポーツ等、良く遊ばせてもらっている。どのコースも女性が多く元気で実に賑やかな。男性は定年後殆ど顔を合わせることはなくなってしまい、所謂「引きこもり」が多いように思えるが、この差が寿命の差かも知れない。

残された人生、努力の結果として得られた今の生活を大いに楽しんで、これからは『千工同窓会報』にも文芸欄でもあれば投稿しようと思う。

今度帰省する機会があったら「津田沼校舎の跡地」でも歩いてみようと思っている。

『会報は世代を繋ぐ回覧板』。いつも同窓会報をありがとう。

二昔ほども前の2001(平成13)年11月、「伊能図」完成に関わる評伝映画『伊能忠敬 子午線の夢』が封切られています。監督は小野田嘉幹で、劇団俳優座創立55周年記念付品と銘打っていました。「驚くほど正確な」と評された「大日本沿海輿地全国」には谷津、久々田、鷺沼の3村名が記載されていて、その一村名が『紅燃ゆる久久田の海に…』と。津田沼校歌に詠われています。その3村の下一字をとって付けられた地名が、「津田沼」なんです。戦災で燃失した検見川校歌は2小節目に『袖師ヶ浦の潮風に…』と詠います。当時、<干潟一里>とされる遠浅の海があったのです。久々田の海は1967(昭和42)年と77年に埋め立てられて、住宅団地、工場地が造成され京葉線が通り、駅もできました。駅前には千葉工大の分校が。校歌に歌われた海は、もう無いのです。

津田沼の「沼」の元たる鷺沼には、伊藤飛行機製作所と飛行士になるための訓練施設・鈴木飛行機研究所(帝国飛行学校)があったのです。その卒業生の中に女性も4人いて、その一人がNHKが1976年に放映した朝のテレビ小説『雲のじゅうたん』の主人公の女性飛行士だったのだとか。大正から昭和の時代、女性ながら空を飛びたいとの夢を追って飛行士になった人物を描いたドラマで浅茅陽子が主演していました。そのドラマの実人物は、伊藤の教え子の兵藤精(ただし)だったと史実にあります。飛行機研究者の奈良原三次が1912(明治45)年、稲毛海岸に民間飛行場を造り、ここの飛行士だった伊藤音次郎が1915(大正4)年に伊藤飛行機製作所を造りましたが、17年の高潮で壊滅。翌年、鷺沼海岸に移ったと。地盤の硬い遠浅の干潟が練習機の離発着に適していたのが一番の理由とのこと。千葉市美浜区の稲毛海岸公園に翼を象った民間航空発祥之地記念碑が建っています。

70年余も昔、即席の教師ではなかったろうに、千葉工業学校にキチンと発音できる英語教師はいなかった。何しろ戦争中は英語は敵性語で、間違っても使ったにしろ憲兵や巡査に死ぬほどの体罰を加えられたりした時代だったのだから。秋山・和田両先生にして然り。それでも読み書きだけは<正鵠を得ていた>と今でも思うこと切。沖縄県出身の伊佐先生には、よく英詩を教えられた。ヴェルレーヌ、カー

ル・ブッセ、テニソン、ロバート・ブラウニング、ロングフェロー、ワーズワースなど。上田敏の訳詩もある英国人テニソンの「Crossing the Bar」は、今でも原詩を暗唱できるほど。こんな詩文です。

Sunset and evening star,
And one clear call for me!
And may there be no moaning of the bar,
When I put out to sea.

他にブラウニングの「ピパが通る」なども。

脳梗塞を発症し記憶力障害のある身でも覚えているのです。学ぶべき時に精魂こめたから？

津田沼校舎の跡地はイトーヨーカドーとイオンの2スーパーに<占領>されています。ヨーカドーの筋向かいの小公園に「県立千葉工業高等学校移転の歴史」と刻印した石碑が建ち、1996年5月吉日と彫られています。そこには『…昭和二十年七月七日焼夷弾により校舎を再度焼失し翌二十一年一月二十四日 千葉郡津田沼町久々田の旧陸軍鉄道連隊兵舎に移転しました』ともあります。『…昭和四十二年四月八日 遥かに富士を望み…生実台地を永劫の地と定め 新築成った白亜の校舎に移転しました』と。終章は『創立六十周年を迎え 母校への想いは更に深くこの思い出の地に記念碑を建立し私達の青春の碑としました』千葉工業同窓会：となっています。

われらの聖域とも言える津田沼校舎への移転については、北村丘校長以下のご努力により最終的に決まったとの記録があります。津田沼駅の北側は鉄道連隊の材料廠で、倉庫棟は工業学校の実習室には天井も高いし、授業のための教室の間仕切りも簡単に出来そうだと判断されたそうで、結果的にこの地に決定したのだとか。

それにしでも今や時代の変貌が著しく、学問も然り。<ゴミダイガク>と揶揄された千葉工大が難関校に、船橋中より格上と評価された母校の現状は？「津田沼」は旧中3年・新高3年を過ごした忘却すべからざる地。

南総だより125号より

知遇を得た南総人：沢辺治夫、森 章、昼田勝彦(3氏故人)、小林一臣、長谷川敏一両氏

『くれない会OB会』開催の記

田子 昌人 (37M)

三井造船(株)の職域同窓会「くれない会」の大勢の仲間から泊まり掛けて送別会を開いて頂いた。参加した後輩たちは、送り出せる嬉しさからか、かなり盛り上がっていたのを覚えている。

その翌日後輩の一人から海の男として宴会場で仲間が歌った加山雄三の『海』♪俺の海よ、のメロディーが耳につき、昨夜は眠れなかったですと言って来た。どうしたら良いのだろうか？

造船マンは設計から現場まで絆が強い！定年退職し早15年が経過し、今年は後期高齢者の仲間入りとなってしまった。そんな中、後輩の白井君と運良く会う機会を得た。くれない会のOB連中に声をかけ、昔話や、楽しい話に花を咲かせられる場を持てたら良いね！との話から、「くれない会OB会」を開催することにした。

世話役の努力のお陰で準備が進みそれなりの資料を揃えトントン拍子に開催にこぎつけたが、体調不良や予定がつかない仲間もいて残念でもあった。平成30年9月8日八幡宿駅前で開催。

しかし、当日は、あんた誰？みんなニコニコ名前出ず！あ、そうか！だいぶ髪が薄くなってしまったな！だったが、すぐに会は盛り上がり、宮内大先輩のボランティア活動の報告と手品の実践に感心し、西郷輝彦のあだ名を持つ尾棹君はエンタテイナー、趣味が広い。そしてパソコンを持参し、スコップ三味線のオーケストラを地元で演奏、活躍中の動画を披露してくれた。

大村君は議員さん、地元の少年野球やスポーツ振

興に力を注いでいました。羨ましいのは前田君、マイペースで農業をやり季節の野菜は殆ど買うことは無い悠々自適の人生を送っているとの事。

参加してくれた皆それぞれが、自分を見つめ自分を切り開いて活動しているのを知ったと同時に、嵐のように、昔のくれない会の宴会のように、賑やかにワイワイガヤガヤがあっという間に過ぎてしまった。

終了後、参加した連中からはOB会を開催してくれて本当にアリガトウと言って頂けたのが嬉しかった。くれない会の仲間との絆を深められたことに一安心。健康に留意し、再度OB会を開催出来れば最高の気分になれる！そう思ったOB会でした。参加してくれた仲間全員に感謝！！



後列左 大村富良(49M) 井桁為佐男(46M) 鈴木信一(48E)
白井正男(40M) 林富美夫(47M)
中列 尾棹(旧姓宿出)尚利(41M) 三上真也(47M)
前列左 前田東作(39M) 大野隆夫(42M) 田子昌人(37M)
宮内潔(32C) 大貫武(42M) 林伸男(42M)

◆編集後記◆

平成最後の同窓会報となりました。同窓会本部も65周年、同窓会報30号の節目の年でした。

平成30年は、冬の豪雪、夏の極暑、台風、地震等の大災害が多発し、政府と官僚の癒着、公文書の改ざん、スポーツ界および大企業の不祥事・陳謝が続きました。その結果「今年の漢字」は災(わざわい)が選ばれました。

明るい話題では、ノーベル医学・生理学賞を受賞した本庶佑さん。スポーツ界のメジャーリーグ 大谷さん、卓球 張本君と女子水泳 池江璃花子さん、将棋 藤井聡太君等若い世代の活躍した年でした。

編集委員は、京葉支部 宇野さんから春田さんに交替となりました。

編集委員長 若月忠良(37M北総・京葉) 編集委員 比連崎正幸(60M南総)、遠藤清司(41C北総)、香焼正利(38E外房)、伊藤洋一(56M特市原市)、春田実章(36M京葉)、金子賢二(34M東葛)、藤川幸雄(37E千葉市)の皆さんで届けています。

同窓会報は経費節減のため、第29号から送付先を、平成元年までの卒業生、旧職員、寄付金者、同窓祭参加者、学校(生徒、職員)に限定しました。

●生徒会役員との懇談会

金子 衛 (38M)



母校第3会議室で

1学期の期末試験の終了した平成30年7月10日(火)の12時から、恒例となっている現役生徒会役員と同窓会本部役員との懇談会を実施した。生徒会からは福岡伯奈子

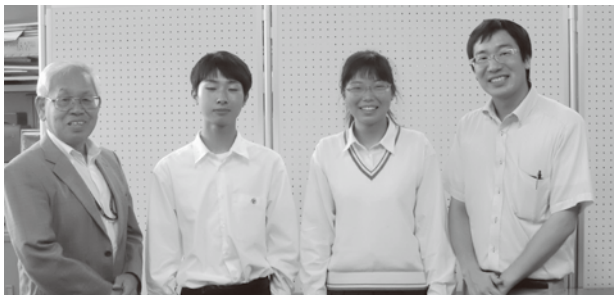
会長(工業化学科3年)以下役員全員(8名)と西澤校長、田口教頭、顧問の藤沢先生が、同窓会からは布施会長以下6名の役員が出席、意見交換を行った。同窓会からは同窓会の運営状況、特に部活支援や同窓会入会式等について説明した。

一方、生徒会からは生徒の協力を得るにはどうしたら良いか…と言ったことについてアドバイスを求められた。

約1時間にわたっての懇談会であったが、同窓会の存在と活動内容に関し、実感して貰えたと思う。

最後に西澤校長、田口教頭にはご多忙の折最後まで同席して頂いたことに感謝したい。

●生徒会部活動 助成金



布施会長と化学研究部の皆さん 母校第3会議室で

部活動(関東大会・全国大会出場)への助成金

- ① 体操部 平成30年度関東大会
- ② 化学研究部 第12回理科研究発表会
- ③ 定時制柔道部 平成30年度全国大会 千葉県代表
- ④ 旋盤競技部 第18回関東大会
- ⑤ 電気科 第18回関東大会(電気工事部門)
- ⑥ 自動車部 第38回全国大会
- ⑦ 理数工学研究部 第61回エレベーターロボット全国大会

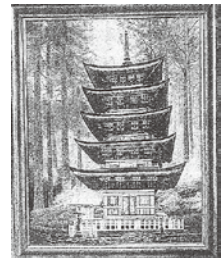
●段木正視同窓会顧問 絵画紹介!

千葉県元公立高校長会の設立50周年記念として、元校長らの芸術作品展「ほおじろ会芸術展」が平成30年9月4～9日、県立美術館第4展示室(千葉市中央区)で開かれた。絵画、書、木彫、工芸、写真の計86点を展示。

その中の一つの「秋色の五重塔」=写真=は、県立千葉工

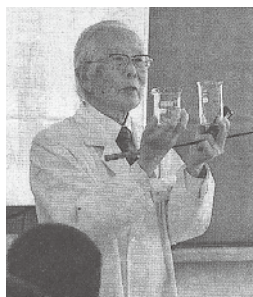
元公立高校長会が作品86点を展示

業高校の元校長で元県高校野球連盟会長の段木正視さん(90)が描いた50号の日本画の大作だ。(朝日新聞 平成30年8月27日)



導電性プラスチック 白川さんが実験教室 千葉工業高で

2000年にノーベル化学賞を受賞した筑波大名誉教授の白川英樹さん(82)による実験教室が12月15日、千葉市中央区の県立千葉工業高校で開かれた。



実験の手順について説明する白川さん

白川さんは、電気を通すプラスチック「導電性プラスチック」の研究でノーベル賞を受賞。科学の楽しさを伝えようと、16年度から全国各地で実験教室を開いており、今回は市科学館

が主催した。

この日は、白川さんの説明を受けた後、小中高校の児童生徒ら32人が、導電性プラスチックの膜を貼り付けたガラスを使って電気を流す実験に取り組んだ。実験が成功して光り出すと参加者から歓声が上がった。

白川さんは「百回見るより一回でも自分で実験して科学の不思議を体験してほしい」と語った。参加した千葉工業高1年、柏倉にいなさん(15)は「成功してよかった。このプラスチックを将来、何かに応用してみたい」と話していた。

(読売新聞 平成30年12月16日)

入学式・対面式



4月9日、平成30年度入学式が行われ、今年度は7クラス279名の生徒が入学しました。

また、2・3年生と1年生が顔合わせをする、対面式も同時期に行われました。

球技大会



5月29日、球技大会が行われました。クラス対抗で学年関係なく白熱した戦いが、グラウンドや体育館で繰り広げられました。特に3年生は最後の球技大会ということもあり、応援とプレーに力が入っていました。

部活動壮行会



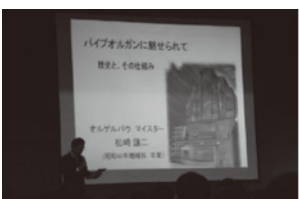
4月19日、5月に向けて多くの部活動が3年生最後の大会が近いということで、部活動壮行会が行われました。各部活動の部長が壇上へと上がり、最後の大会に向けての意気込みを話してくれました。

タマン・シー校来校



6月21日、マレーシアよりタマン・シー校の生徒32名、引率職員4名が来校しました。各学科の実習や施設などを見学し、歓迎会を行いました。歓迎会では、タマン・シー校の生徒が中華系扇子ダンスのパフォーマンスを、本校生徒は吹奏楽部による演奏をし、互いの仲を深めあい、互いに有意義な時間を過ごしました。

創立記念講演会



5月10日、本校の機械科（現電子機械科）の卒業生である松崎讓二先生が「パイプオルガンに魅せられて～歴史と、その仕組み～」と題して、創立記念講演会を行っていただきました。

実際にパイプオルガンを製作・調音している現場の声を話してくださった松崎先生のお話は、実際に行っている人にしか感じるこのできない体験談でした。その貴重なお話を、生徒は興味深く聞いており、講演後の質問の時間には時間が足りなくなるほどでした。

体育祭



9月28日、第7回体育祭が行われました。今年度から理数工学科が3学年揃ったので、5科5色対抗の体育祭となりました。球技大会とは違い学科対抗となるので、同じ学科の他学年を応援する姿がとても印象的でした。また今年度は、7連覇を目指していた工業化学科を抑えて、電子機械科が初優勝しました。

中学生体験入学



9月30日、中学生にむけての体験入学が行われました。多くの中学3年生が、本校の各学科の生徒と一緒に体験実習をしました。アンケートではとても良かったと答えてくれる中学生がたくさんおり、来年度の新入生として来てくれることを楽しみにしています。

総合技術コンクール



12月1日、市川工業高校会場で千葉県の工業高校生による第35回総合技術コンクールが行われ、出場した8部門中、すべての部門で入賞を果たしました。また、ライントレースカー部門においては、昨年に引き続き教育長賞を獲得しました。

修学旅行



10月2～5日、2年生が北陸・関西方面に修学旅行へ行き、心配されていた天候にも恵まれました。兼六園では金沢商業高校の子たちが各班を案内してまわってくれ、金沢の文化や伝統に触れつつ交流を深めていました。

姉妹校交流（台湾）



12月16～19日、東勢工業高級中等学校との姉妹校交流のため、生徒11人、引率職員3人で台湾へ行きました。技術交流では、タイヤ交換やハンダ付けによるLEDプレートの点灯など、貴重な体験をしました。

文化祭（千工祭）



10月26日、文化祭（千工祭）の一般公開が行われました。今年度は各クラス、部活動の活躍によって例年よりも盛り上がり、たくさんの方々が来校されました。同窓会・(一財)千工会の展示発表も行われました。

今年度は工業化学研究部が「Let's GO!! CHEMISTRY WORLD」で千工祭大賞を受賞しました。

課題研究発表会



1月25日、課題研究発表会が本校の体育館と食堂で行われました。1～2年間かけて研究・制作などしたものを、ポスターセッション形式で発表しました。なかには、作品を展示しているグループもありました。課題研究の授業は1～2年間ですが、それぞれの作品は3年間の思いが詰まった素晴らしいものとなりました。

平成30年度 進路概況（全日制の課程）

（平成30年12月20日現在）

●就職・内定先

《工業化学科》 (株)ヤマナカコーキン、日鉄住金テックスエンジニアリング(株)君津支店、JFEテクノリサーチ(株)、宇部マテリアルズ(株)、浮間合成(株)佐倉製造事業所、デンカ(株)千葉工場、千葉積水工業(株)、(株)ADEKA千葉工場、オリエンタル酵母工業(株)、三井化学(株)市原工場、広栄化学工業(株)千葉工場、JFEケミカル(株)東日本製造所千葉工場、ディップソール(株)、双葉電子工業(株)、住化カラー(株)千葉工場、中央港荷役(株)、ロイヤル(株)、一般財団法人千葉県薬剤師会検査センター、日鉄住金環境(株)君津支店、日本曹達(株)千葉工場、日鉄住金物流君津(株)、理研ビタミン(株)、(株)太平洋コンサルタント、王子コーンスターチ(株)千葉工場、濱田重工(株)君津支店、全農パールライス(株)、(株)ジャパンディスプレイ、東邦化学工業(株)千葉工場

《電子機械科》 千葉製粉(株)、(株)LIXIL、(株)フジクラ佐倉事業所、不二サッシ(株)千葉工場、(株)ジャパンペーパー工業、吉野石膏(株)千葉第三工場、(株)前田製作所千葉工場、UDトラックス(株)、キヤノン(株)、日本通運(株)関東警送支店、(株)ムラオ、三井造船特機エンジニアリング(株)マリン・メンテ事業部千葉工場、(株)荏原製作所、テックプロジェクトサービス(株)、住友建機(株)、高周波精密(株)、(株)ワキタ、東亜外業(株)千葉事業所、京成電鉄(株)、(株)日立産機ドライブソリューションズ、AGC(株)千葉工場、日産自動車(株)、トーカロ(株)、建機エンジニアリング千葉(株)、宮地エンジニアリング(株)、(株)東京機械製作所かずさテクノセンター、双葉電子工業(株)、東芝テクノソリューションサービス(株)、日野自動車(株)、(株)日立ビルシステム東京総支社、丸一銅管(株)、DIC(株)千葉工場、デンカ(株)千葉工場、白鳥製薬(株)、(株)横河システム建築千葉事業場、鬼怒川ゴム工業(株)、古河電気工業(株)千葉事業所、(株)駒井ハルテック、JFE溶接鋼管(株)、東日本旅客鉄道(株)、JFE物流(株)東日本事業所、JFEスチール(株)東日本製鉄所、(株)日野ヒューテック、(株)日立産機システム習志野事業所、大和千葉製罐(株)、宇部興産(株)千葉石油化学工場、新日鐵住金(株)君津製鐵所、JFEコンテナ(株)千葉工場、住友重機械工業(株)千葉製造所、東海旅客鉄道(株)新幹線鉄道事業本部、三友工業(株)、不二サッシリニューアル(株)東京本部、日鉄住金物流君津(株)、JFEプラントエンジニアリング(株)、日立化成(株)五井事業所、日鉄住金電磁(株)

《電気科》 (株)富士通ゼネラル、(株)丸電、(株)NTT東日本-南関東、東日本電気エンジニアリング(株)、(株)明電舎、旭化成(株)製造統括本部川崎製造所、AGC(株)千葉工場、(株)関電工、日鉄住金テックスエンジニアリング(株)君津支店、住友重機械マリンエンジニアリング(株)、君津共同火力(株)、東邦化学工業(株)千葉工場、マブチモーター(株)、出光興産(株)、エヌ・ティ・ティ・インフラネット(株)、千葉都市モノレール(株)、(株)全日警、TDK(株)テクニカルセンター、三井化学(株)市原工場、JR東日本メカトロニクス(株)、京成電鉄(株)、イオンデライト(株)、東京パワーテクノロジー(株)、(株)イトーキ、東芝エレベータ(株)東関東支社、日本天然ガス(株)千葉工場、(株)太平洋コンサルタント、千代田エンジニアリング(株)、(株)弘電社、山九(株)君津支店、(株)ヒダン船橋工場、東日本旅客鉄道(株)第一貨物(株)千葉支店、丸善石油化学(株)千葉工場、田辺工業(株)千葉支店、(株)チバコー、不二ライトメタル(株)、JFEテクノリサーチ(株)、ネグロス電工(株)、一般財団法人関東電気保安協会、日産化学(株)袖ヶ浦工場、(株)橋本電業社、三栄電気工業(株)東京支店、(株)荏原エリオート、ニチハマテックス(株)習志野工場、不二サッシリニューアル(株)東京本部、千葉製粉(株)、(株)ミライト、(株)千葉ケイテクノ、山九(株)千葉支店、銀河

《情報技術科》 (株)朋栄佐倉研究開発センター、日本曹達(株)千葉工場、キヤノン(株)、東芝エレベータ(株)東関東支社、旭国際テクノイオン(株)、(株)日立システムズフィールドサービス、ピナシステムサービス(株)、東京機械産業(株)、横河マニュファクチャリング(株)、(株)センチュリー・システムズ、日本食研ホールディングス(株)、(株)関電工、三島光産(株)化工事業本部千葉事業部、(株)ジュイアール東海パッセンジャーズ、(株)JFEテクノリサーチ(株)、デンカ(株)千葉工場、川組(株)

《理工数学科》 新日鐵住金(株)君津製鐵所、日鉄住金建材(株)、デンカ(株)千葉工場

【公務員】 市原市消防、千葉県警察官(2名)、海上自衛隊一般曹候補生、海上自衛隊自衛官候補生、千葉県職員初級(電気)

●進学先

【大学・短大】 千葉大学(教育学部・中学校・技術科教育学科)、日本大学(理工学部・航空宇宙工学科)、日本大学(生産工学部・機械工学科・応用分子工学科・数理情報工学科・土木工学科)、日本大学(工学部電気電子学科)、東京電機大学(工学部・電気電子工学科)、東京電機大学(システムデザイン工学部・デザイン工学科)、千葉工業大学(工学部・機械電子創成工学科・電気電子工学科)、千葉工業大学(情報科学部・情報工学科)、千葉工業大学(創造工学部・都市環境工学科・建築学科)、千葉工業大学(社会システム科学部・経営情報科学科)、工学院大学(先進工学部・機械理工学科)、東京情報大学(総合情報学部・総合情報学科)、国士舘大学(理工学部・機械工学科)、ものづくり大学(技能工芸学部・建設学科)、東京工科大学(メディア学部・メディア学科)、東京工科大学(コンピュータサイエンス学部・コンピュータサイエンス学科)、千葉経済大学(経済学部・経済学科)、淑徳大学(総合福祉学部・実践心理学科)、中央学院大学(法学部)、敬愛大学(経済学部・経済学科)、敬愛大学(国際学部・国際学科)、仙台大学(体育学部・体育学科)、洗足学園音楽大学(音楽音響デザインコース)、千葉職業能力開発短期大学校(成田校・航空機整備学科)、千葉職業能力開発短期大学校(千葉校・電気エネルギー学科)

【専門学校】 日本自動車大学校(自動車整備科)、専門学校千葉県自動車総合大学校(2級自動車整備科)、専門学校千葉県自動車大学校(1級自動車研究科・2級自動車整備科)、国際理工情報デザイン専門学校(建設設計科・ゲームクリエイター科・ビジュアルデザイン科)、国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校(語学集中科観光外語コース)、船橋情報ビジネス専門学校(ITエンジニア科4年生)、大原簿記公務員専門学校千葉校(公務員消防官(2年生))、組合立千葉美容専門学校(昼間生美容学科)、東洋理美容専門学校(美容科)、千葉市青葉看護専門学校(看護学科)、千葉調理専門学校(調理高等国際科)、東京自動車大学校(1級総合整備コース)、専門学校日産横浜自動車大学校(1級自動車工学科)、学校法人ホンダ学園ホンダテクニカルカレッジ関東(1級自動車研究開発学科)、専門学校神田外語学院(英語専攻科)、日本工学院八王子専門学校(建築学科)、東京IT会計専門学校(ビジネス学科)、東京IT会計法律専門学校千葉校(警察官・消防官・自衛官(1年制))、日本工学院専門学校(蒲田校)(音響芸術科)、代々木アニメーション学院、国際医療福祉専門学校(理学療法学科)、専門学校東洋公衆衛生学院(臨床検査技術学科)、東放学園専門学校(照明クリエイティブ科)、HAL東京(昼間部ゲーム・昼間部CG)、アミューズメントメディア総合学院(ゲームプランナー科)、総合学園ヒューマンアカデミー秋葉原(ゲーム学科)

「同窓会寄付金」のお願い

- ・「同窓会寄付金」にご賛同いただける方は、一口1,000円 合計金額を払込取扱票の金額欄に、ご記入し振り込んでください。寄付金の受付は、いつでも何口でも歓迎します。
- ・同窓会報に寄付金者名を掲載させていただきます。なお、匿名希望の方は匿名希望に○印をしてください。

ゆうちょ銀行または郵便局 口座記号番号 00150=4=93262 (振込用紙 赤色)
振込手数料は同窓会本部で負担します。

「第34回 千葉工業同窓祭」にご参加ください

- 日時 2019年6月30日(日) 11:30~14:00
- 会場 JFEみやざき倶楽部
千葉市中央区宮崎1-15 TEL043-268-6800
JR蘇我駅 徒歩15分
京成千原線 千葉寺駅 徒歩7分
- 会費 5,000円



喜寿のお祝いを予定しております。生年月日の記入をお忘れなくお願いします。(昭和17年1月1日~昭和17年12月31日生)

※千葉工業同窓祭実行委員会の振込用紙 赤色にて5月末日までに振り込んでください。
振込用紙がお手元に無い方は、下記の口座に振り込みをお願いいたします。
振込手数料は同窓会本部で負担します。

ゆうちょ銀行または郵便局 口座名称 千葉工業同窓祭実行委員会
口座記号番号 00210-4-104741 (振込用紙 赤色)

※卒業3年以内の方は無料です。参加希望者は5月末日までに必ず同窓会事務局に連絡ください。

第33回 千葉工業同窓祭・同窓会創立65周年記念



千葉工業同窓会 幹事会のお知らせ

2年に1回開催する「幹事会」を開催します。
常任幹事、幹事(各クラスから選出、各地域支部から推薦)はご参集願います。

- 日時: 2019年5月25日(土) 14:00
- 会場: 千工会館
- 議事: 会務報告・会務計画 他

題字 安藤 信吉 (20M)

千葉工業同窓会報

第30号

発行日 平成31年3月1日
発行者 千葉工業同窓会 会長 布施 敏雄
事務局 〒260-0815 千葉市中央区今井町1478
千葉県立千葉工業高等学校内
TEL043-264-6251 FAX043-268-5524
印刷 株式会社 千都